

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 5月30日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31410
政策名 (章)	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第4節 商業・サービス業の集積		商業観光課
施策名	特色ある商業地の形成	課長名	梅沢道雄

1 施策の概要・目的

豊かな市民生活の実現に向け、多様な消費者ニーズに対応できる特色ある商業地の形成を図る。
 ・商業・サービス業をはじめ、業務、文化、交流等の広域的な都市機能を備え、まちづくりと一体となった中心商業地の形成を進める。
 ・それぞれの地域特性を生かした魅力ある商業地として、地区中心商業地、近隣商業地の形成を進める。

2 施策の現状

商業活動の拠点整備のため、橋本駅・相模原駅・相模大野駅周辺地区を「中心商業地」と位置付け、商業・サービス業や、文化・交流などの広域的な都市機能を備えた商業地の形成を進めている。また、淵野辺・上溝・小田急相模原・東林間・古淵地区の「地区中心商業地」や、若松・相武台・南橋本・相原二本松地区などの「近隣商業地」では、地域の特性を生かした魅力ある商業地の形成を進めている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

119,551 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

194 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **78** 番目です。

(4) 施策に要している人員

8.92 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	街路灯の設置状況 設置ある商店街数 市内商店街数 45 / 69	街路灯の設置状況により商店街環境整備の進捗状況を表す。	現状	65 %	0 50 100	目標年度
			目標	100 %		達成度 65%
指標2	壁面後退による歩行者空間整備 ・地区計画やまちづくり協定に基づき、建物建築時に壁面後退を行い民地を歩行者空間として活用している。	商業地形成事業区域内で確保した安全で快適な歩行者空間の整備状況	現状	1,939 m ²	0 50 100	目標年度
			目標	13,218 m ²		達成度 15%
指標3			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位		達成度 %

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

産業は、市民の豊かな暮らしを支え、活力ある地域社会を形成するうえで大きな役割を担っている。特色ある商業地の形成に努め、多様な市民ニーズに応えられる商業・サービス業の振興を図る必要がある。

6 有効性…期待される効果があがっているか

商業地づくりを進めるため、「商業地形成事業助成制度」を設け、商店街環境整備事業等の支援を行ってきた結果、魅力ある街並みの形成、利便性の向上など、快適で魅力ある商業地の形成が着実に進展しつつある。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

事業者や地域住民と行政が一体となって、商店街環境整備事業等のまちづくりを進めてきており、費用対効果は妥当と考える。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

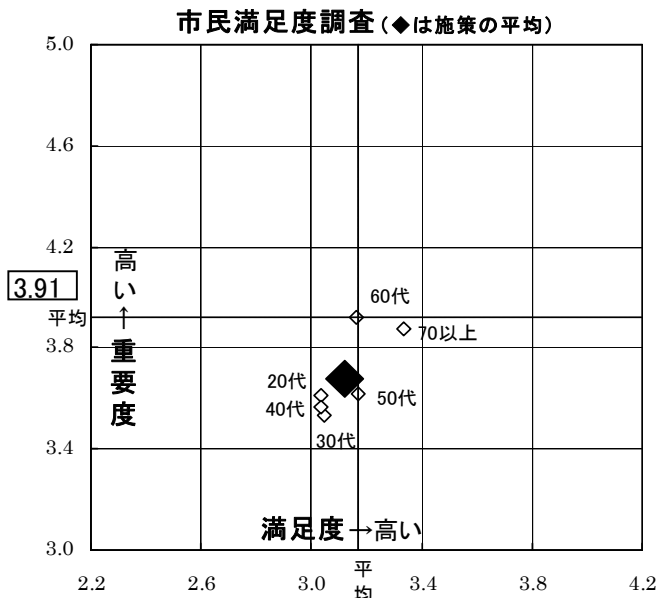
◆この施策の満足度は、3.118で、調査した51施策の中で33番目です。

◆この施策の重要度は、3.681で、調査した51施策の中で40番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.398で、調査した51施策の中で32番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40歳代以下で低くなっています。重要度は60歳代以上で高く、50歳代以下と差がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

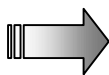


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

長引く景気低迷に加え、消費者ニーズの多様化や価値観・ライフスタイルの変化、モータリゼーションの進展など社会経済環境の変化により、中小小売店舗の減少や駅前等の既存商業地の伸び悩みなど、本市の商業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。商業地形成事業の助成制度については、補助率や補助限度額の設定などの見直しを行い平成15年4月1日から施行しているが、さらに時代のニーズに対応した補助メニューの精査に努める必要がある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

特色ある商業地の形成のため、これまでは商店街環境整備事業等のハード事業への支援を重点的に行ってきたが、平成15年度以降は、橋本駅周辺地区と相模大野駅周辺地区で策定した「中心市街地活性化基本計画」の推進など、これまでの環境整備の効用を十分に生かした商店街活性化のためのソフト事業への支援を重点的に行っていく。

11 2次評価

説明

<input type="checkbox"/> A	これまで商店街環境整備事業等のハード整備を進めてきたが、中心市街地の空洞化防止策として、ソフト事業への転換を検討すること。
<input type="checkbox"/> B	
<input checked="" type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明

大規模な郊外店舗の立地とそれに伴う中心市街地の空洞化防止措置を、ハード整備からソフト施策の充実に切り替えながら講じる必要がある。

